

令和4年度予算編成の重点的取組み

目次

- 1 ゼロカーボンシティの実現に向けた取組み

環 境 部

令和4年2月



当初予算 合計 3億3,654万5千円

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ

安全安心で、共有し、支え合う心豊かな持続可能で脱炭素なまち

2050年
実質ゼロへ

2022年
「ゼロカーボン元年！」
ゼロカーボンパッケージ
スタート～！

2030年
▲43%
(2007年度比)

2021年
「ゼロカーボンシティ長崎」
宣言！

エコ活動を
楽しい！
カッコいい！
得する！へ

2007年(基準年)
224万5千トン-CO₂/年

これまでの削減量
市域(2019年度時点)
20万1千トンCO₂ ▲9.0%
市役所(2020年度時点)
19,633トンCO₂ ▲22.7%

長期目標(2050(令和32)年度)

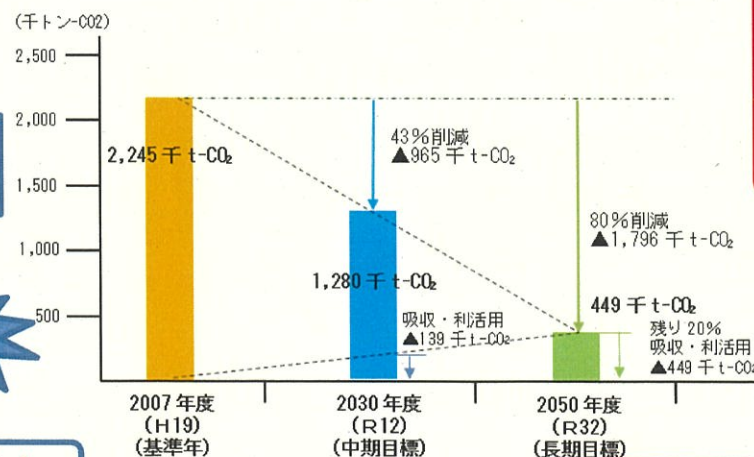
2007(平成19)年度レベルから

温室効果ガス削減の取組みを講じることにより
80%削減

20%は二酸化炭素の吸収、利活用

「ゼロカーボンシティ長崎」の実現

カーボンニュートラルへの道筋



低炭素から
脱炭素へ！

シフト
チェンジ

加速化！

実質ゼロ！

「ゼロカーボンシティ長崎」の実現に向けた2つの軸

- ①脱炭素ライフスタイルへの転換
- ②再生可能エネルギーの活用によるエネルギーの地産地消の拡大

排出量の7割以上を占める
運輸、民生業務、民生家庭部門がターゲット!!

2030年に向けた取り組み

★戦略をリードする野心的数値目標

【削減戦略1】
まち歩きを楽しめる脱炭素な都市の形成

脱炭素型の移動手段を選択する環境に優しいまち
【市域編】【▲52,032~65,313 t-CO₂/年】
●市内自動車保有台数に占めるEV・PHEVの割合を2030年までに20~25%にする(2020年度時点 0.4%)

【市役所編】【▲176 t-CO₂/年】
●公用車(特殊車両除く)の総数に占めるEV・PHEVの割合を2030年までに50%以上に(2020年度時点 3.3%)

【削減戦略3】
省資源・循環型のまちづくり

ごみ減量化等に積極的な省資源・循環型のまち
【市域編】【▲23,990 t-CO₂/年】
●燃やされているプラスチック製品を2030年までに0にする(2020年度時点 10,826 t)

【市役所編】【▲3.6 t-CO₂/年】
●ペーパーレス化を推進し、2030年までに紙の使用量を2020年度比50%以上削減する

【削減戦略4】
日常生活や事業活動の脱炭素化への転換

脱炭素型のライフスタイルが確立したまち
【市域編】【▲8,434 t-CO₂/年】
●新築住宅のうちZEH基準(ZEH, Nearly ZEH, ZEH Oriented)の省エネ性能に適合する住宅の割合を2030年までに60%以上に(2020年度時点 19.7%)

【市役所編】【▲3,660 t-CO₂/年】
●既存を含めた市の施設全体のLED照明の導入割合を2030年までに100%にする(2020年度時点 2.0%)

【削減戦略2】
環境にやさしいエネルギーの活用と環境関連産業の活性化

再生エネルギーが活用された環境と経済が好循環するまち
【市域編】【▲311,152~328,439 t-CO₂/年】
●市域のエネルギー消費量のうち、再生可能エネルギーの割合を36~38%にする(2020年度時点 8.6%)

【市役所編】【▲1,509 t-CO₂/年】
●市保有の建築物のうち太陽光発電設備が設置可能な施設への導入割合を50%以上に(2020年度時点 25.7%)

二酸化炭素の吸収・利活用

森林や、海洋生態系等によって吸収される大気中に含まれる二酸化炭素の吸収源対策を講じるとともに、農業分野などにおける二酸化炭素の利活用

一市二町での実行計画共同策定

長崎広域連携中枢都市圏を形成する長与町、時津町と共同して地球温暖化対策実行計画を策定することで、地域における対策の相乗効果を生み、さらなる取組みの加速、強化を図る。

「ゼロカーボンシティ長崎」元年 達成へ向けてキックオフ!!

「エコ活動を「正しい」「楽しい」「カッコいい」「得する」活動へ

＜脱炭素ライフスタイルへの転換＞
環境配慮が組み込まれたライフスタイルの確立(自分事ととらえ、環境配慮が当たり前の生活)

【削減戦略1】脱炭素型の移動手段を選択する環境に優しいまち ▲6t-CO₂/年

- 脱炭素ライフスタイルへの転換の支援 (環境)【環境部】長崎のもぎき恐竜パーク・道の駅夕陽が丘そとめへの急速充電設備の設置 [継続] 23,000千円
- GPSとAIを用いたごみ収集現状分析、最適化事業 (環境)【環境部】EV軽自動車4台とPHEV車1台の導入 [新規] 23,434千円
- 電気自動車給電器設置事業 (総務)【防災】 [新規] 15,700千円
- [拡大] 1,884千円

【削減戦略3】ごみ減量化等に積極的な省資源・循環型のまち ▲14t-CO₂/年

- 給水スポットの設置 (建水・教厚・総務)【上下水道・こども部・理財部】 [新規] 2,000千円
- マイボトル推進のため出前講座の実施 (建水)【環境部】 [新規] 500千円
- 使用済ペットボトルを繰り返し再生する実証事業 (ボトルtoボトル) (環境)【環境部】 [新規] 0予算
- フードドライブの推進 (環境)【環境部】 [継続] 0予算

【削減戦略4】脱炭素型のライフスタイルが確立したまち ▲97t-CO₂/年

- 環境分野を超えた脱炭素化ネットワークの拡大と環境教育(ESD)の充実 (ながさきサステナプロジェクト(サステナプラザながさき&ながさきサステナスクール))
- 公用電気自動車(既存)への普及啓発ラッピング (環境)【環境部】 [拡大] 2,400千円
- 脱炭素化に係る市民環境活動応援費 (環境)【環境部】 [拡大] 2,000千円
- 市民環境行動推進業務委託 (環境)【環境部】 [拡大] 10,084千円
- 環境問題意見交換「こども国際会議」の開催 (教厚)【教育委員会】 [拡大] 2,442千円
- 「SDGs×平和」事業 (教厚)【原対部】 [新規] 195千円
- エコまちプログラム (東総合事務所) [新規] 0予算
- 住宅性能向上リフォーム補助(既存住宅の断熱改修) (建水)【建築部】 [継続] 10,000千円
- 環境問題に積極的な中小企業への融資制度の融資上限額引上げ (環境)【商工部】 [拡大] 49,620千円

- 公共施設の省エネルギー化を促進 (教厚)【こども部】公立保育所、幼稚園の照明設備LED化 [拡大] 1,976千円
- 各総合事務所「ふれあいセンター」等LED化(5施設) (総務・教厚) [拡大] 53,231千円
- 海水浴場・キャンプ場施設のLED化 (環境)【水産農林部】 [拡大] 1,200千円
- 上下水道施設のLED化(2施設) (建水)【上下水道】 [新規] 15,000千円
- 三重下水処理場省エネ送風機設備改築工事 (建水)【上下水道】 [新規] 10,600千円
- 電力量の調整による報酬の獲得 (建水)【上下水道】

＜再生可能エネルギーの拡大＞
地域資源を最大限活用した地域の資金が地域で循環する自立分散型エネルギーシステム構築

【削減戦略2】再生エネルギーが活用された環境と経済が好循環するまち ▲1,853t-CO₂/年

- 市庁舎をはじめ、公共施設の電力由来CO₂実質ゼロ化 (環境)【環境部】 令和5年1月 新市庁舎へRE100電力の供給開始
- 2050年再生可能エネルギー導入戦略の策定 (環境)【環境部】 [拡大] 13,785千円
- 地域再生可能エネルギー導入目標策定業務 [拡大] 13,348千円
- 公共施設再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査業務
- 新たな脱炭素化事業の創出による雇用創出と環境エネルギー産業の活性化 (環境)【環境部】 エネルギー版産学官民連携スタートアップ事業 [拡大] 3,797千円
- 分散型エネルギーインフラプロジェクト (環境)【環境部】 路面電車の架線網を活用した直流マイクログリッドの可能性調査 [拡大] 20,000千円

【二酸化炭素の吸収・利活用】【水産農林部】

- ブルーカーボン事業 (環境)【環境部】
- 水産資源再生事業費 [新規] 29,930千円
- 水産多面的機能発揮対策支援費 [継続] 8,680千円
- 森林整備事業 (環境)【環境部】
- 山林整備事業費(公有林) [継続] 18,600千円
- 森林整備促進費 [継続] 1,250千円
- 森林・山村多面的機能発揮対策事業費 [継続] 1,004千円

【一市二町での実行計画共同策定】 (環境)【環境部】 地球温暖化対策実行計画協議会費 [拡大] 885千円